





「今朝のセックスもすげかったですね♡せんぱいが
チンポを根本まで突っ込んでくるのが気持ちよすぎて、
簡単にイカされちゃいました♡」

私は先輩に向かって、お尻を突き出しました。
先輩は私の大きなお尻が大好きです。
いやらしくお尻を振って、チンポを誘います。

ぱりん♡

ぱりん♡



「あん♡お尻ナデナデされるの気持ちいいー♡」

普段からさらわれているせい、
お尻が感じやすくなっています。
力強い手で、お尻をもまれると、
簡単にオマツコを濡らしてしまいます。

あ♡

あ♡

あ♡

ナデ

ナデ



先輩は私のお尻をしつこいくらい
なでまわしたり、もみしだいたりしてきます。
私もそれが大好きで、
イキそうなほど感じてしまいます。



もみ!

もみ

ヌク...

うっ!!

ズボ

ビクッ!!

「あーんっ!?
チッポはいつたあ!
すすぞおい♡♡
きもちいい♡♡

先輩は私のお尻をなでて
フルボツキすると、一気に
チッポを挿入してきました。

ビクッ♡

おまんこ

ビクッ♡



ズッコッコ

はっ!!
はあ!!
ズッコッコ!!

110 110 110

「あんあんあん♡
もっとお♡私のおしり
楽しんでくださいあいー!

先輩は腰をお尻に
打ち付けるように激しく振ってきます。
私はお尻をしっかりと突き出して、
手ツポがオマツコの中を
ほじくる快感に身をゆだねます。

あ♡

は♡







おお!!

どっどっ!!

どっどっ!!

「おお——っ!?
射精きたあ〜♡
いいよお、うっぱいはいつてる!
いいくくく!」
私もイッちゃうっ♡

おお♡♡♡♡♡

びしょ!!

びしょ!!



「えっ!? まだ出てる!?!
すごいよ!♡ 私のおしり、
そんなに気持ちよかったんですか!?!
うれし♡全部オマノコの中に
出し切ってください!♡」

プッ

プッ

「はーっ、はーっ...♡
先輩のチンポ、
すごかったあ♡
やっぱ、セックスって
最高ですね♡

私は先輩に射精されて、
最高に気持ちよくイキました。
オマリコから先輩の精子をたらしながら、
セックスの余韻をじっくりと味わいました。



「と」とここで、催眠には
いつかかるとはですか？
いつもと変わらず、自分の意思で
セックスをしてるんですけどねぇ。

ビクッ♡

は♡

は♡

当たり前ですが、私は今日の催眠にも
まったくかかりませんでした。
ちゃんと自分からセックスを楽しめたし、
とても気持ちよくイクラことができました。

うん♡♡♡

ビクッ♡♡♡

ポッ

